

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日

令和7年6月17日

部課名

教育委員会文化財課

施設名	旧藤田家住宅
施設の設置目的	弘前市の歴史や文化を伝え、もって市民の教養を高めるため
所在地	弘前市大字御幸町9番地35
指定管理者名	弘前ペンクラブ
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。また利用者が安心して施設を利用できるよう、施設内外の環境美化や維持管理に努めるなど、適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 「太宰治まなびの家絵はがき」、「クリアファイル」の販売をしている。また、これまで開催した文学講座をまとめた書籍「太宰を語る」を発行・販売しており、館内には太宰ライブラリーを設置している。	
3 市民サービス向上のための取組状況 利用者が安心して施設を利用できるよう、施設内外の点検項目を定め、施設の維持管理・安全管理を徹底しているほか、常駐の解説員による解説を実施している。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 施設内に常時アンケート用紙を設置し、利用者の意見・要望を把握するとともに、毎月行われている会議で対応策を検討・対応している。	
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など） 令和6年度の来館者数は、4,003人となっており、年々増加傾向にある。 （参考：令和2年度：1,506人 令和3年度：1,578人 令和4年度：2,940人 令和5年度：3,621人）	
6 指定管理業務の収支状況 計画的で安定した予算執行に努めており、適正に行われている。 年間の収支決算としてはほぼ均衡したものとなっている。	

7 実地調査の結果

施設が適切に管理・運営されており、業務も誠実に遂行されていることを確認した。

8 成果指標の達成度

入館者数: 目標 4,160人 (H28～R2の5年間の入館者数の平均値の1.1倍)
令和6年度実績: 4,003人 達成度 96.23%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	イベントをもう少し増やしたい。	文学講座の開催を増やす。
施設の管理	A	概ね適正に行われている。	文化財課との連絡を密に。
経理の状況	C	若干の赤字を出してしまった。	予算管理を徹底する。
団体の財務状況	B	年度余剰金にかなりの余裕がある。	若い会員を増やす。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評 価 の 説 明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容に基づき、概ね適正に実施している。	引き続き利用者増を図るため、魅力ある事業の展開に期待する。
施設の管理	A	入館者が気持ちよく観覧できるように、施設の清掃や、冬期間の除雪等、適切に実施されている。	今後も適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	適正に管理されており、経費の削減に努めている。	今後も適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する